

福祉生活病院常任委員会資料

(令和2年10月6日)

【件名】

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応について

(健康政策課) . . . 1

新型コロナウイルス感染症への対応について

令和2年10月6日
健康政策課

1 県内における感染者の発生状況（10月3日現在）

- (1) 感染者数（累計）36名（東部15名・中部4名・西部17名、うち入院中5名（重症者なし））
(2) 感染者の概要（9月14日以降発生分）

| No. | 発生日 | 年代 | 性別 | 居住地 | 接触者の調査状況 | 既感染者との関連 |
|-----|-------|-----|----|------|---|--|
| 33 | 9月14日 | 30代 | 男 | 鹿児島県 | 23例目の発生を受け 251人のPCR検査実施 ※251人の内訳 工事現場関係134件 立ち寄り先等117件 ※検査結果 陽性13人(24～35例目) | 23～32、34例目と 接触の可能性 ※他県で陽性確認され た者（国の退院基準 を満たし退所済） |
| 34 | 9月14日 | 50代 | 男 | 東京都 | | 23～33例目と接触 の可能性 |
| 35 | 9月16日 | 50代 | 男 | 三重県 | | 24～31例目の濃厚 接触者 |
| 36 | 9月18日 | 50代 | 女 | 境港市 | 36例目（病院職員）の感染 を受け関係者429人の検査 を実施 ※全て陰性 | 調査中 |

- (3) 西部地区クラスターの対応状況
- ・県内で最初に確認された者は、後に栃木県で陽性と判明した者と接触歴があった。
 - ・共同生活していた者からは、宿舍退去後、35例目の感染が確認されたが、健康観察期間（14日間）経過後においては、新たな感染者は確認されていない。
 - ・建設現場関係者からも新たな感染者は確認されていない。
⇒感染者は、工事関係者の範囲内で収まっており、本クラスターは終息したものと判断。
- (4) 済生会境港総合病院での院内感染と思われる感染事例の対応状況
- ・36例目の最終出勤日9月16日から2週間経過し、病院関係者から新たな感染者は確認されていない。
 - ・全職員のPCR検査を実施し陰性を確認。
 - ・鳥取県感染制御チームの立入の結果大きな問題点は見つからなかった。
⇒施設の清掃・消毒も完了したことから、10月1日（木）をもって通常診療を再開。

2 相談及び検査の実施状況（10月3日現在）

- (1) 発熱・帰国者・接触者相談センター（県内3カ所）における相談件数
累計21,640件（東部9,543件、中部2,989件、西部9,108件）
(2) 検査件数（医療機関実施分を含む）
累計10,456件（うち陽性35件）

3 新型コロナ警報の発令状況（10月3日現在）

発令なし

【参考】発令経過（9月14日以降）

| 発令日 | 発令内容 |
|-------|---|
| 9月14日 | 33～35例目の発生を受け、全県に発令していた「警報」（西部：「重点地域」、9月26日まで）を9月28日まで延長 |
| 9月18日 | 36例目の発生を受け、全県に発令していた「警報」（西部：「重点地域」）を10月2日まで延長 |
| 9月22日 | 東部・中部への波及は見られず、西部内でも限られた接触範囲内のため、西部地区のみの「注意報」に変更 ⇒10月2日解除 |

※重点地域：地域の感染拡大状況を踏まえ、より具体的なメッセージを発信し、感染予防の徹底を促す地域